

「胸部外科」特集原稿募集

2027年7-8月号（80巻4号）において標記のテーマの特集を行いますので奮ってご応募ください。

テーマ

今振り返る単孔式胸腔鏡手術

胸腔鏡手術（VATS）が標準術式となり、その延長線上に、より低侵襲である単孔式VATSが行われてきた。一方、ロボット支援下手術（RATS）の普及により早期肺癌の手術法は施設ごと、術者ごとに大きく異なるものとなっている。RATSにおいても、二孔式や単孔式といったポート数減量の試みがなされてきているが、もっとも低侵襲な術式は単孔式VATSであろうかと考えられる。日本呼吸器外科学会の胸腔鏡安全技術認定においても、当初こそ合格率は低かったが、現在では単孔式VATSの合格率は高く、術式の安全性は証明されていると思われる。

本特集では現時点での単孔式VATSの到達点を示すとともに、単孔式VATSの優位性、将来性に関して、必要であればRATSとの比較も交えて議論を深めてもらえれば幸いである。

『胸部外科』編集主幹 小野 稔，千田雅之

*

*

*

- **内 容**：臨床と研究、臨床経験などテーマに沿ったもの
- **応募方法**：予定タイトル、著者名、施設名、ミニ抄録を400字詰原稿用紙1枚に収めて**2026年12月25日（金）**までにお送りください（**E-mailでも構いません**）。
編集委員会で採否を決めさせていただきます。2027年1月末日までにご連絡いたします。
なお採用論文は下記のとおりご執筆をお願いいたします。
- **原稿枚数**：400字詰原稿用紙12枚以内（英文summaryを含む）、図表6枚以内
- **原稿締切日**：2027年3月31日（水）
- **掲載号**：『胸部外科』80巻4号（2027年7-8月号）
宛先：☎113-8410 東京都文京区本郷三丁目42-6（株）南江堂『胸部外科』編集室
TEL：03-3811-7619 / FAX：03-3811-8660 / **E-mail**：pub-jt@nankodo.co.jp

*

*

*